

タイプ	ポリウレタン樹脂塗料上塗(弱溶剤形)					
特長	① マイルドな溶剤を使用しているため環境衛生に貢献 ② 耐候性(光沢保持性)良好 ③ 厚膜可能 ④ 耐衝撃性・耐摩耗性など機械的強度が良好					
用途	スラグリード専用上塗り					
塗料性状	混合比率(重量比) ……………主剤：硬化剤＝9：1					
	色 相 ……………各色					
	密 度(23℃)(g/cm³)…………1.25		刷毛・ローラー・スプレー			
	標準塗付量 ……………	標準塗付量	150g/m²			
	標準膜厚 ……………	ドライ	30μm			
		ウェット	64μm			
		(5℃)	(10℃)	(20℃)	(30℃)	
	乾燥時間 ……………	指 触	60分間	40分間	30分間	20分間
		硬 化	12時間	8時間	6時間	4時間
	塗装間隔 ……………	最 短	12時間	8時間	6時間	4時間
	最 長	7日	7日	7日	7日	
ポットライフ ……………		24時間	20時間	16時間	8時間	
塗装条件	気 象 ……………温度 5℃以上 湿度 85%以下					
	塗 装 法 ……………刷毛・ローラー・エアレススプレー塗り					
	希釈シンナー ……………塗料用シンナーB					
	希釈率(重量) ……………刷毛・ローラー塗り：0～10% スプレー塗り：5～15%					
	下地調整 …………… —					
	適合下塗 ……………SRプライマー、専用プライマー 適合上塗 …………… —					
使用上の注意	① 2液反応型塗料のため配合比を厳守してください。 硬化剤は湿気と反応して性能を低下しますので十分に注意してください。					
	② 塗装および養生中も十分な換気を行ってください。					
	③ 過剰なシンナー添加はタレ止め性や塗膜不具合を招く恐れがあります。					
	④ SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱いください。					
荷 姿	18kgセット、4kgセット					
危険物表示	主 剤		硬化剤			
	消防庁登録記号 ……………2781SD		278101			
	引火点 ……………42.0℃		45.0℃			
	消防法危険物区分 ……………可燃性液体類		第二石油類			
	爆発限界(容量%) ……………下限 0.5／上限 6.5					
	有機溶剤区分 ……………第三種有機溶剤					
備 考	注) 塗料密度は実測値です。NV、VOC量は、塗料配合から計算した値です(無希釈状態)。					

この説明書のデータは、予告なく改定することがあります。

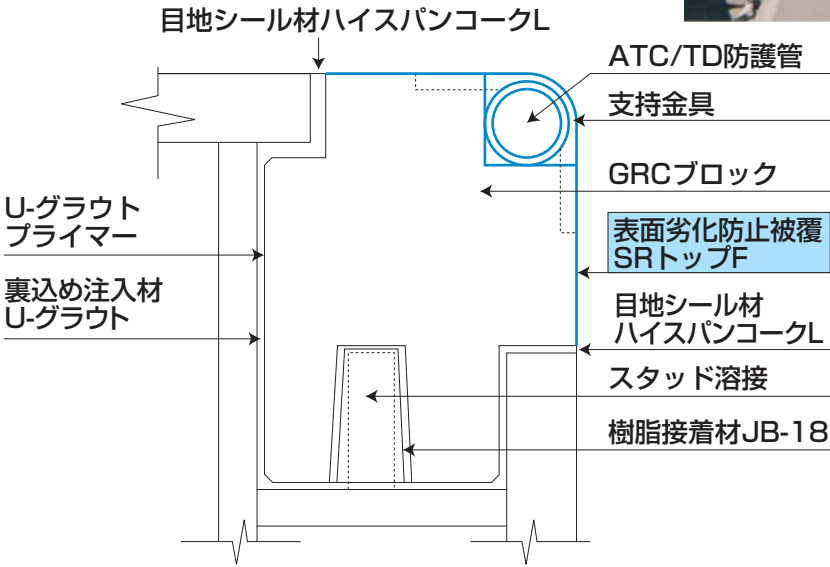
KTMモノレール工法専用常乾型フッ素樹脂塗料

ト ッ プ フ

トップFは、GRCブロックと目地シーリング、ATC/TDループ防護管の保護を目的とし、超耐候性・耐紫外線性・撥水性に特にすぐれた常乾型フッ素樹脂塗料です。

KTMモノレール工法とは

KTMモノレール工法は、GRCのもつ優れた性能を生かした工法で、鋼軌道桁のたわみに追随し、ATC/TDループ防護管を固定する工法です。



標準塗装仕様

	工 程	仕様材料	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
1	素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物・汚れ・油脂類などを除去する			
2	下 塗	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料 SRトップHG 主剤9：硬化剤1	0.15	16h以上	刷毛 ローラー スプレー
3	上 塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料 SRトップF 主剤9：硬化剤1	0.15		刷毛 ローラー スプレー

トップFの性能

トップFは弱溶剤(塗料用シンナー)に可溶な弱溶剤フッ素樹脂をベースにし、イソシアネートを硬化剤とする弱溶剤形フッ素樹脂塗料です。

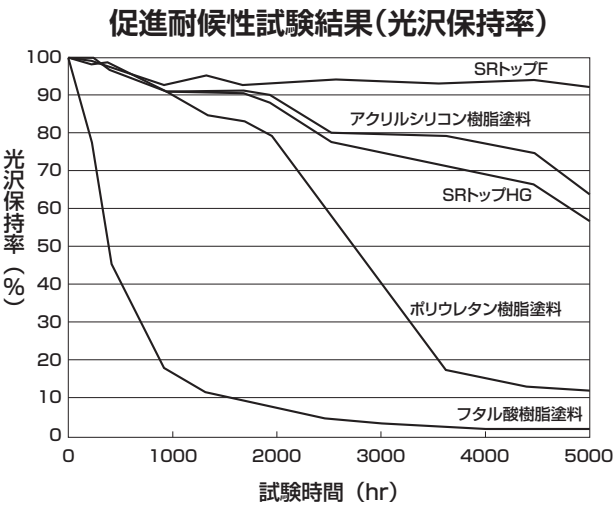
トップFは次のような特性をもっています。

- ① 超耐候性

サンシャインウェザオメーターに4000時間暴露した後でも、光沢保持率は90%以上を維持します。
- ② 光沢

着色塗膜の60°鏡面光沢度は80～90です。
- ③ 基材への密着性

各種基材への密着性は良好で、同種塗料へのリコート性もあります。
塗装性もよく、スプレー、ロールコートなど塗装方法は自由に選べます。



試験条件
サンシャイウェザオメーター 温度：60%RH
ブラックパネル：63℃ 水スプレー：毎時12分間

トップF工法の中性化防止性能

仕上の種類	中性化深さ(mm) (最大～最少)
トップF	0～2.0
無塗装	8.0～17.0

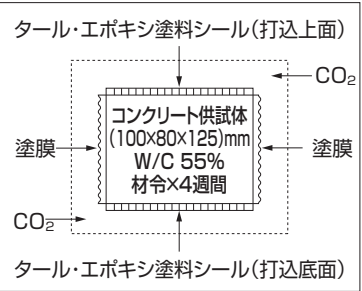
試験条件：CO₂濃度10%、温度30℃、湿度60%
雰囲気中にて、12時間(約3ヶ月間)放置
測定法：試験体を2分割に切断して、その断面に、1%フェノールフタレインアルコール溶液を噴霧し中性化深さを測定する。

トップF工法の遮塩性

仕上の種類	塩素体/浸透深さ (mm)
トップF	0
無塗装	20以上

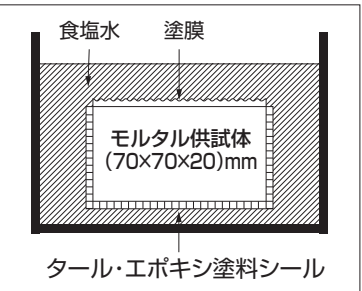
試験条件：15%食塩水注にて60日間完全浸透
測定法：試験体を2分割に切断して、その断面に、0.1%フルオレッセンナトリウム溶液及び0.1N硝酸銀溶液を噴霧して、塩素イオン(Cl⁻)の浸透深さを測定する。

試験体



注：セメントフィラーにて、下地調整実施

試験体



注：セメントフィラーにて、下地調整実施

SRトップF

タイプ	フッ素樹脂塗料上塗(弱溶剤形)				
特長	① マイルドな溶剤を使用しているため環境衛生に貢献 ② 耐候性(光沢保持性)優秀 ③ 厚膜可能 ④ 耐水性・耐塩水性・耐衝撃性などの塗膜性能が優秀				
用途	スラグリード専用上塗り				
塗料性状	混合比率(重量比) ……主剤：硬化剤＝9：1				
	色 相 ……各色				
	密 度(23℃)(g/cm³) ……1.27		刷毛・ローラー・スプレー		
	標準塗付量 ……	標準塗付量	150g/m²		
	標準膜厚 ……	ドライ	30μm		
		ウェット	65μm		
	乾燥時間 ……	(5℃) 指 触 2時間	(10℃) 1.5時間	(20℃) 1時間	(30℃) 40分間
		硬 化 24時間	20時間	12時間	8時間
	塗装間隔 ……	最 短 24時間	20時間	12時間	8時間
		最 長 7日	7日	7日	7日
ポットライフ ……	8時間	6時間	5時間	3時間	
塗装条件	気 象 ……温度 5℃以上 湿度 85%以下				
	塗 装 法 ……刷毛・ローラー・エアレススプレー塗り				
	希釈シンナー ……塗料用シンナーB				
	希釈率(重量) ……刷毛・ローラー塗り：0～10% スプレー塗り：5～15%				
	下地調整 …… —				
	適合下塗 ……SRトップHG				
	適合上塗 …… —				
使用上の注意	① 2液反応型塗料のため配合比を厳守してください。 硬化剤は湿気と反応して性能を低下しますので十分に注意してください。				
	② 塗装および養生中も十分な換気を行ってください。				
	③ 過剰なシンナー添加はタレ止め性や塗膜不具合を招く恐れがあります。				
	④ SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱いください。				
荷 姿	16kgセット、4kgセット				
危険物表示	主 剤		硬化剤		
	消防庁登録記号 ……	2811SB	280802		
	引火点 ……	31.6℃	50.6℃		
	消防法危険物区分 ……	第二石油類	第二石油類		
	爆発限界(容量%) ……	下限 0.5／上限 7.0			
	有機溶剤区分 ……	第三種有機溶剤			
備 考	注) 塗料密度は実測値です。NV、VOC量は、塗料配合から計算した値です(無希釈状態)。				